洗濯機の事故

事故の概要

【事例①】乾燥中の衣類が焼けた。
【事例②】脱水槽から洗濯物を取り出そうとしたところ、人さし指が衣類に巻き込まれて負傷した。
【事例③】脱水中の洗濯機から大きな音がして前面と後面の外枠が外れ、壁の一部が壊れた。

事故の原因

【事例①】油分が付いたタオルを洗濯後に乾燥運転したため、残っていた油脂成分の酸化熱により自然発火したものです。

酸化熱とは・・美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等)、食用油、動物油などの油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。この熱を酸化熱といいます。酸化熱が蓄積して温度が上昇することで、自然発火に至ることがあります。

【事例②】回転中の脱水槽に手を入れたためです。

【事例③】防水性の玄関マットを洗濯したため、脱水時に回転が不安定になって異常振動を引き起こし、大きく揺れたときに外枠に衝突して大きな音とともに変形したものです。

事故防止のために

◆美容オイル、食用油、動物油、塗料などが付いたタオルや衣類は洗濯後でも乾燥機能を使わないでください。オイル等が残留していると、酸化熱で自然発火するおそれがあります。
◆洗濯槽や脱水槽が完全に停止しない状態でふたを開けて手を入れると、回転している衣類に指が巻き込まれて切断するなどけがをするおそれがあります。ゆっくりとした回転でも危険です。
◆取扱説明書で禁じている防水性のものや、容量を超える量を洗濯しないでください。洗濯機が大きく振動し、本体の破損や周囲に被害を与えるおそれがあります。

nite 製品安全センター